



平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月13日

上場会社名 株式会社 梅の花

上場取引所 東

コード番号 7604 URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼海外事業部長 (氏名) 上村 正幸

TEL 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成22年5月17日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	14,846	△0.5	461	60.9	474	163.6	380	30.4
21年9月期第2四半期	14,914	—	287	—	179	—	291	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	6,588.22	—
21年9月期第2四半期	5,051.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	20,295	3,675	18.0	63,480.88
21年9月期	18,709	3,320	17.7	57,316.93

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 3,662百万円 21年9月期 3,307百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,703	△2.2	503	110.6	263	—	136	—	2,358.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等 4.その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 57,700株 21年9月期 57,700株

② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 一株 21年9月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第2四半期 57,700株 21年9月期第2四半期 57,700株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は着実に持ち直してきているものの自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にあるなかで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは「熱さ、スピード、タイミング」を重視した料理の提供と「心からの笑顔で本当に心からサービスする」ことを心掛けています。

販売強化策として、2月の節分で「恵方寿司」、3月は雛祭りにちなんだ「ちらし寿司」の販売にグループ全体で取り組みました。また、外食事業においては2ヶ月毎に販売コンテストを開催し売上高の拡大を図りました。

店舗の出退店につきましては、外食事業3店舗出店、テイクアウト事業4店舗出店及び1店舗退店、当第2四半期末の店舗数は、233店舗（F. C. 店1店舗含む）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高148億46百万円（前年同期比99.5%）、営業利益4億61百万円（前年同期比160.9%）、経常利益4億74百万円（前年同期比263.6%）、四半期純利益3億80百万円（前年同期比130.4%）となりました。

なお、事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

（外食事業）

広告販促手段をテレビコマーシャルに重点を置き、記憶に残る内容で「料亭と居酒屋の中間」という店舗イメージを発信し、気軽にご来店頂けるお店をアピールいたしました。また、夜の来客数の増加を目的として、昼のランチメニューを夜に導入し、来店しやすい環境を作り席の回転率の向上を図りました。

ドリンクメニューは、女性を対象とした美容と健康をテーマにコラーゲンドリンク、りんご酢ドリンク等の開発と今流行のハイボールを追加、また冬の限定として「ゆず」をテーマに身体が温まるお酒やソフトドリンクを提供し、客単価アップを図りました。

出店及び退店につきましては、梅の花は、10月に「所沢店（埼玉県）」、12月に「町田店（東京都）」を出店し、69店舗（F. C. 店1店舗含む）、チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗は、3月に新業態として「季節釜めし 花小梅（大阪府）」を出店し、2店舗となりました。従いまして、外食事業の全店舗数は78店舗、売上高は92億82百万円（前年同期比101.0%）、営業利益8億6百万円（前年同期比100.6%）となりました。

（テイクアウト事業）

出店及び退店につきましては、寿司テイクアウト店は、10月に「尼崎阪神店（兵庫県）」、12月に「ららぽーと横浜 I Y 店（神奈川県）」を出店し、1月「梅田大丸店（大阪府）」を閉店し、133店舗となりました。

梅の花テイクアウト店は、16店舗となりました。

その他店舗は、10月に大阪工場に隣接した「工場直売所（大阪府）」、3月に「おしとり西の丘店（福岡県）」を出店し、6店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は155店舗、売上高は55億63百万円（前年同期比97.3%）、営業利益1億24百万円（前年同期は営業損失53百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）連結財務状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ15億85百万円増加し、202億95百万円となりました。これは主に、売上の増加及び借入金の増加による現金及び預金の増加14億36百万円、売上の増加による売掛金の増加1億43百万円によるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ12億30百万円増加し、166億19百万円となりました。これは主に借入金の総額が11億33百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ3億55百万円増加し、36億75百万円となりました。これは四半期純利益3億80百万円の計上によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して、13億65百万円増加し、20億65百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は10億55百万円（前年同期10億30百万円の収入）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益4億62百万円の計上、非資金的費用である減価償却費5億36百万円及びのれん償却費57百万円を計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は7億81百万円（前年同期9億50百万円の支出）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出7億15百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は10億91百万円（前年同期4億27百万円の収入）となりました。

これは主に金融機関からの短期借入金の純増額2億82百万円、長期借入れによる収入21億50百万円及び長期借入金の返済による支出12億99百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、デリバティブ評価益92百万円等により経常利益が当初計画を上回りましたが、通期の連結業績予想につきましては、依然として景気先行きの不透明感が拭えず、予断を許さない状況が続くと思われまますので、平成21年11月16日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

適用した簡便な会計処理につきましては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,443,007	1,006,731
売掛金	1,286,663	1,143,656
商品及び製品	68,273	65,984
原材料及び貯蔵品	109,106	117,980
繰延税金資産	131,061	130,419
その他	501,535	509,870
貸倒引当金	△1,858	△1,958
流動資産合計	4,537,789	2,972,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,075,846	6,775,342
機械装置及び運搬具（純額）	217,134	203,393
土地	4,595,857	4,595,857
建設仮勘定	5,166	122,881
その他（純額）	624,377	685,447
有形固定資産合計	12,518,381	12,382,922
無形固定資産		
のれん	866,677	924,455
その他	68,135	72,111
無形固定資産合計	934,812	996,567
投資その他の資産		
投資有価証券	68,830	63,490
長期貸付金	67,706	68,874
繰延税金資産	295,528	365,052
敷金及び保証金	1,750,113	1,743,050
その他	200,626	215,242
貸倒引当金	△78,765	△98,301
投資その他の資産合計	2,304,038	2,357,409
固定資産合計	15,757,233	15,736,898
資産合計	20,295,022	18,709,583

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	641,656	518,803
短期借入金	4,392,802	4,110,100
1年内返済予定の長期借入金	2,732,626	2,662,424
未払金	1,131,610	1,034,717
未払法人税等	20,150	24,630
賞与引当金	282,700	220,900
店舗閉鎖損失引当金	407	26,847
ポイント引当金	50,897	40,123
その他	538,906	592,662
流動負債合計	9,791,756	9,231,208
固定負債		
長期借入金	6,236,847	5,456,510
退職給付引当金	120,364	105,618
デリバティブ債務	420,567	538,937
その他	50,343	57,198
固定負債合計	6,828,122	6,158,264
負債合計	16,619,878	15,389,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434,334	2,434,334
資本剰余金	1,811,323	1,811,323
利益剰余金	△583,220	△934,511
株主資本合計	3,662,437	3,311,146
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,136	766
為替換算調整勘定	△4,725	△4,725
評価・換算差額等合計	410	△3,959
新株予約権	12,296	12,922
純資産合計	3,675,143	3,320,109
負債純資産合計	20,295,022	18,709,583

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	14,914,778	14,846,662
売上原価	4,683,125	4,296,514
売上総利益	10,231,653	10,550,148
販売費及び一般管理費	9,944,487	10,088,182
営業利益	287,165	461,965
営業外収益		
受取利息	7,809	3,184
受取配当金	98	112
受取保険料	699	1,528
受取手数料	14,264	13,773
デリバティブ評価益	—	92,462
雑収入	29,824	20,636
営業外収益合計	52,695	131,698
営業外費用		
支払利息	96,491	89,430
デリバティブ評価損	34,553	—
雑損失	28,971	30,189
営業外費用合計	160,016	119,620
経常利益	179,844	474,044
特別利益		
固定資産売却益	3,377	—
貸倒引当金戻入額	1,930	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	11,352	2,271
新株予約権戻入益	939	626
特別利益合計	17,599	2,898
特別損失		
固定資産除売却損	19,933	11,974
投資有価証券評価損	15,887	—
ゴルフ会員権評価損	—	2,319
その他	2,785	41
特別損失合計	38,606	14,335
税金等調整前四半期純利益	158,838	462,607
法人税、住民税及び事業税	14	13,583
法人税等調整額	△132,645	68,882
法人税等合計	△132,631	82,466
四半期純利益	291,469	380,140

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	158,838	462,607
減価償却費	591,915	536,089
のれん償却額	57,778	57,778
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,808	61,800
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△49,507	△26,439
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,240	14,746
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	685	4,189
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	34,709	10,773
受取利息及び受取配当金	△7,907	△3,297
支払利息	96,491	89,430
固定資産除売却損益 (△は益)	16,556	11,974
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,887	—
ゴルフ会員権評価損	—	2,319
デリバティブ評価損益 (△は益)	34,553	△92,462
売上債権の増減額 (△は増加)	△194,946	△143,007
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,030	6,585
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,512	122,853
その他	76,994	46,907
小計	873,614	1,162,847
利息及び配当金の受取額	6,477	1,307
利息の支払額	△97,119	△88,987
法人税等の支払額	△22,727	△20,106
法人税等の還付額	145,118	—
退店補償金の収入	125,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,030,362	1,055,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△869	△70,681
定期預金の払戻による収入	120,067	—
有形固定資産の取得による支出	△1,113,656	△715,863
有形固定資産の売却による収入	21,332	2,000
無形固定資産の取得による支出	△19,298	△3,787
固定資産の除却による支出	△6,344	△7,623
投資有価証券の取得による支出	△939	△1,168
貸付金の回収による収入	1,610	1,368
敷金及び保証金の回収による収入	89,630	36,259
敷金及び保証金の差入による支出	△35,298	△15,593
その他	△6,234	△6,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	△950,000	△781,162

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,132,616	282,702
長期借入れによる収入	1,000,000	2,150,000
長期借入金の返済による支出	△1,704,838	△1,299,461
リース債務の返済による支出	—	△2,663
割賦債務の返済による支出	—	△10,443
配当金の支払額	△591	△28,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	427,186	1,091,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	507,548	1,365,593
現金及び現金同等物の期首残高	699,312	699,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,206,860	2,065,315

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)

	外食事業 (千円)	テイクアウト 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,195,089	5,719,688	14,914,778	—	14,914,778
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,467,394	90,492	2,557,886	(2,557,886)	—
計	11,662,483	5,810,181	17,472,665	(2,557,886)	14,914,778
営業利益又は営業損失(△)	801,926	△53,051	748,874	(461,708)	287,165

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)

	外食事業 (千円)	テイクアウト 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,282,944	5,563,718	14,846,662	—	14,846,662
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,336,960	23,584	2,360,544	(2,360,544)	—
計	11,619,904	5,587,302	17,207,207	(2,360,544)	14,846,662
営業利益	806,464	124,682	931,147	(469,182)	461,965

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

(1) 外食事業・・・湯葉と豆腐懐石料理等の飲食店経営及びその付帯事業

(2) テイクアウト事業・・・とうふしゅうまい、湯葉揚げ、寿司等の持ち帰り専門店経営

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%超であるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%超であるため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。